

住民も公務員労働者も、  
 誰もが幸せに  
 暮らしつつげられる  
 町づくりを



メーデー集会の様子

# メーデー参加者に「全国自治研」への参加をアピール

5月1日(金)、広島市中区ハノーバール庭園で第97回広島県中央メーデーが開催され、約300名が参加、広島自治労連からは40名近い仲間が参加しました。

今年のメーデーは、長引く物価高騰と実質賃金の低下が続く、労働者や国民の暮らしがより厳しさを増す中での開催となりましたが、「働くものの団結・連帯で、暮らしと経済、平和と政治課題の闘いを前進・飛躍させよう」と呼びかけました。

## 「公共を取りもどそう」とアピール

参加団体の活動報告では、全国自治研



メーデー行進の様子



自治研についてアピールを行う自治研実行委員

実行委員会(事務局広島自治労連)が「公共を取りもどし、住民も公務員労働者も誰もが幸せに暮らしつつげられる町づくりを」をテーマに、「憲法守れ」「戦争する国づくり反対」「子どもの権利を守れ」等8本のアピールを、デモレーションに応募したイメージキャラクター「もみじちゃん」、段ボールで作成した市内電車で見覚的にも訴えました。

コンクールは惜しくも2位でしたが、例年より楽しいメーデー参加となりました。

2026年メーデーを目前に、4月30日(木)メーデー前夜祭が広島ロードビルにて開催され会場には57名が集まりました。

前半は広島のうたごえ協議会の方々と一緒に『世界をつなげ花の輪に』『国のすみずみから』等の歌を会場全員で歌い、メーデーへの気持ちを高めました。

後半はドキュメンタリー映画『女性の休日』を鑑賞。内容は1975年にアイスランドの女性の90%が仕事や家事を一

立ち上げる女性たちに勇気付けられ... 要求実現のために さあ、行動しよう！

## メーデー前夜祭 開催!

## ★今月から連載が始まります! 第18回 地方自治研究国集会in広島 その①

地方自治研究全国集会(自治研全国集会)は、憲法を住民のくらしにいかし、住民本位の地方自治をつくるために、住民、労働者、自営業者、研究者と自治体・公務員労働者(労働組合)が実行委員会を形成し、共同して研究、交流、討論を行い、その時々の情勢の中で、住民本位の政治、地方自治を実現するた

め、政策と運動の展望を示す全国集会として開催しています。

1990年に横浜市で第1回地方自治研究全国集会を開催し、企画から運営まで、「住民が主人公」を貫く共同集会へと発展してきました。

そして、第18回を数える集会を10月3日(土)〜4日(日)広島市内で開催

第22回県内の自治体・公務員職場ではたらく女性の学習交流集会

- 6月7日(日)9時・広島市役所集合～車分乗で呉市へ
- 内容:日鉄呉跡地フィールドワーク
- 14時・広島市内着予定
- お問い合わせ・広島自治労連



メーデー前夜祭に集い歌をうたう参加者

Let's Go 自治研

催することになり、現地では「住民の幸せと自分たちの仕事」を見直しながら、準備を進めています。

集会内容は2次元コードから

5・3 憲法集会  
2026平和といのち  
と人権を！

# 私たちひとり一人が 平和をつくる



集会最後に参加者で「ストップ軍拡 9条守れ！」を掲げる

5月3日(土)広島県民文化センターで、「戦争させない・9条壊すな! ヒロシマ総がかり行動実行委員会 憲法集会実行委員会」主催、「5・3 憲法集会」が開催され、会場530人とオンライン88人合わせ630名以上が参加しました。憲法ミュージカルと記念講演を通じて、ひとり一人が平和をどう実現させるのか考えていくパワーがある、と実感する場となりました。

## 現役高校生が脚本執筆！ リアルな平和観が観客を唖らせる



憲法ミニミュージカルのみなさん

2部構成である集会の第一部は、憲法ミニミュージカル「声を上げよう! 2026」を公演。広島への修学旅行を舞台に、明るくコミカルな展開の中にも、平和や憲法の大切さを訴え、最後に「憲法賛歌」を歌い締めくくるストーリーはとても素晴らしいものでした。

## 武力で平和は作れない 軍事力よりも話し合いを



その後第二部では講師に名古屋学院大学の飯島

滋明教授を迎え、講演「憲法を活かして戦争のない世界を」が行われました。



名古屋学院大学  
飯島滋明教授

過去に無謀な戦争に突き進み、多くの命が犠牲になった反省からできた日本国憲法を変えようとし、軍事費を大増額して「戦争する国」に突き進もうとする危うい流れに対し、「軍事費より暮らしのための予算を」「武力で平和は作れない」と訴える姿に、参加者は深い感銘を受けました。

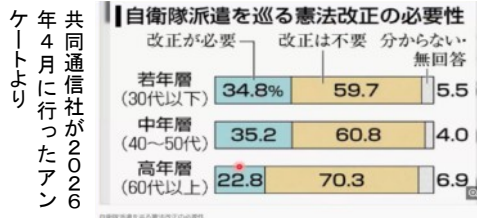
公演後はアピール案を採択し、会場参加者全員が「ストップ軍拡 9条守れ」のプラカードを掲げて思いを一つにしました。

最後のあいさつでは改めて「軍事力よりも話し合いを」と訴え、今年交付80年となる日本国憲法を考える集会を締めくくりました。

全国で広がっている「戦争反対」「憲法守れ」ペ  
ンライトデモは、広島県では広島市や福山市で行  
われています。  
性別、年齢問わず各自がオリジナルの「光り物」  
「プラカード」を手に発言したり、コール、拍手す  
るなど自由でオリジナルあふれる行動です。デモ  
カレンダ―で検索すると今後の予定がつかめま  
す。

デモカレンダー

検索



4月8日(水)19時~広島市中区本通り「ペンライトデモ」約400人参加

4月22日(水)午後、東京労働会館で自治労連組織部長会議が行われ、全国の担当者が参加しました。橋口書記長が、26春の組織拡大の前半の到達を交流し、後半の取り組みに向かう気持ちを高めようとあいさつしました。

## 2026春の組織拡大

# 「声を届けていない仲間はいませんか？」

「要求実現と仲間づくり」「困りごとは労働組合へ」青池組織局長は、全国での取り組み状況を報告。新採の特徴として「一人ひとり丁寧に話せば加入につながる」「民間経験者が多く、労働条件について積極的に聞かれる」「組合に対する疑問にしっかり応えれば安心して加

## 広島県労連 パリン連 「春の学習会」

# 広島県は「中小業者への直接支援を」 国は「最賃全国一律、時給1700円以上を」

4月12日(日)広島県労連パート・臨時・嘱託労組連絡会は、最賃引上げに向けて学習会を開催。民主商工会に参加いただき、物価高騰や消費税、インボイス制度を背景とした中小企業の実況についてお話を聞きました。

寺田拓也事務局長は「広島県の中小業者への支援制度は業者にとって申請しにくい。岩手県や群馬県では賃金を上げた企業への直接支援制度の創設がされ、その支援金額も今年は岩手県は広島県の10倍以上の25億円となっている。広島県でもこうした賃金アップのための中小業者への支援策こそ必要であり皆さんと一緒に求めていきたい」と話されました。

入につながる」と報告しました。また、「綿密な計画・準備」を行ったところが拡大を勝ち取っていること、要求実現と合わせて拡大に取り組むことが重要とも報告しました。最後に、後半に向け、対話促進カード「Tカード」の活用が提起されました。これは、名刺サイズなど、小さくて役員や先輩が常備しやすいものとし、表面に「困りごとは労働組合へ」などの呼びかけと、裏面には直近のイベント(新歓パーティーなど)を記載し、新規採用者に「仕事には慣れましたか」「悩みや相談事はありますか」と声をかけ気軽に手渡せるツール

